

根室市は安定した水産資源の確保を目的に、増養殖事業や資源管理型漁業を積極的に推進しておりますが、同時に水産研究所において、根室を代表する有用海産生物の基礎的研究を行い、種苗生産技術の確立による沿岸資源の増大を目指しております。

特に根室の特産物を代表するハナサキガニは、平成9年から平成12年までの4ヶ年実施された基礎研究、さらに平成13年から平成15年までの3ヶ年実施された完全養殖に向けた飼育試験など、7ヶ年に亘りハナサキガニの人工種苗に関する飼育実証試験を実施しております。

現在も、将来の大量種苗生産を目指した、効率的でより安定した種苗生産を目的とした飼育環境の条件を確立する試験に取り組んでおります。

今後はより安定した大量種苗生産と、高い生残率の期待できる集団的中間育成の技術確立を目指した飼育実験を計画しており、将来的には安定した種苗生産による稚ガニ放流事業の拡大と資源増大を目指しております。

### (1) 施設の概要

施設名	根室市水産研究所	敷地面積	5,557.32 m <sup>2</sup>
所在地	根室市温根元 168 番地	建物面積	延面積 1,099.19 m <sup>2</sup> ( 研究所 1,041.69 m <sup>2</sup> 温室 31.50 m <sup>2</sup> ポンプ室 26.00 m <sup>2</sup> )
総事業費	687,839 千円		
竣工	平成 8 年 9 月 5 日		

### (2) 設備の概要

取水	海水濾過装置			
	・一次濾過装置	2 基	8t/h	(紫外線滅菌装置付)
	・二次濾過装置	2 基	7t/h	
・精密濾過装置	1 基	2.5t/h		
水槽	・大型丸底水槽	4 基	500 ℓ	
	・丸底孵化水槽	10 基	120 ℓ	
	・微細藻類等水槽	15 基	100 ℓ	
	・FRP水槽 (a)	12 基	2,000 ℓ	
	・FRP水槽 (b)	6 基	2,200 ℓ	
	・FRP水槽 (c)	4 基	1,500 ℓ	
	・アクリル水槽(a)	1 基	1,700 ℓ	
・アクリル水槽(b)	2 基	500 ℓ		
特殊空調	特殊空調室			
	・恒温室	3 室	(実験室・培養室・低温室)	

### (3) 研究の概要

#### ① ハナサキガニの種苗生産試験

ハナサキガニ種苗生産の基礎技術は、ほぼ確立したところでありますが、しばしば発生する幼生の大量斃死によって、生残率は安定していないのが現状であります。これは飼育水の悪化や病原性細菌の発生が原因と考えられることから、安定した種苗生産技術を確立するために水質の浄化及び細菌の除去に優れた飼育方法の開発をすすめています。

#### ② ハナサキガニの中間育成試験

ハナサキガニの中間育成は、海中で垂下飼育する方法を実施してきましたが、生残率は低迷しているのが現状であります。これは健苗性や共食いによる減耗が原因と考えられることから、当研究所では生残率向上を目指した陸上水槽での中間育成技術の確立をすすめています。

#### ③ ハナサキガニの養成試験

現在、ハナサキガニの種苗生産に必要な受精卵は、天然の親ガニに依存しています。しかし、近年漁獲される前浜産の親ガニの確保が難しい状況にあることから、良質な受精卵を安定的に確保するために親ガニ養成技術の確立をすすめています。

#### ④ 有用海産生物の増養殖試験

ホッカイベイやエゾバイ等、地先で漁獲される海産生物の初期生活史の解明ならびに資源培養に関する基礎研究を実施しています。

### (4) 視察者数

根室市水産研究所では、学術的な視察はもちろんのこと、行政視察や学校教育における総合学習等の視察に対応した研究施設の案内、研究概要の説明などを随時行っております。

年度	区分			団体	人数
	大人	子供	計		
平成16年度	279	233	512	10団体	363
平成17年度	219	41	260	13団体	157
平成18年度	233	69	302	14団体	91
平成19年度	398	10	408	16団体	250
平成20年度	458	13	471	10団体	235
平成21年度	272	25	297	10団体	98

(※平成21年度数値は平成22年3月10日現在の実績値)